

保護者様

塩谷町立船生小学校長 大関 絹恵

学校評価の結果について（おしらせ）

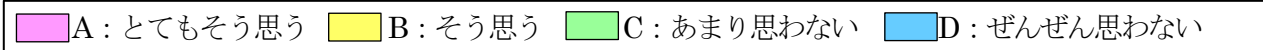
日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、学校教育目標を達成するための日々の取り組み状況についてまとめました「評価結果（令和5年度）」をお知らせいたします。結果をご覧いただき、児童にとってよりよい教育環境づくりの実現に向けて、今後ともご協力をよろしくお願いたします。

また、令和6年度も学校評価を実施予定ですので、実施の際は、ご協力をよろしくお願いたします。

1 児童・保護者によるアンケートについて（令和6年1月実施）

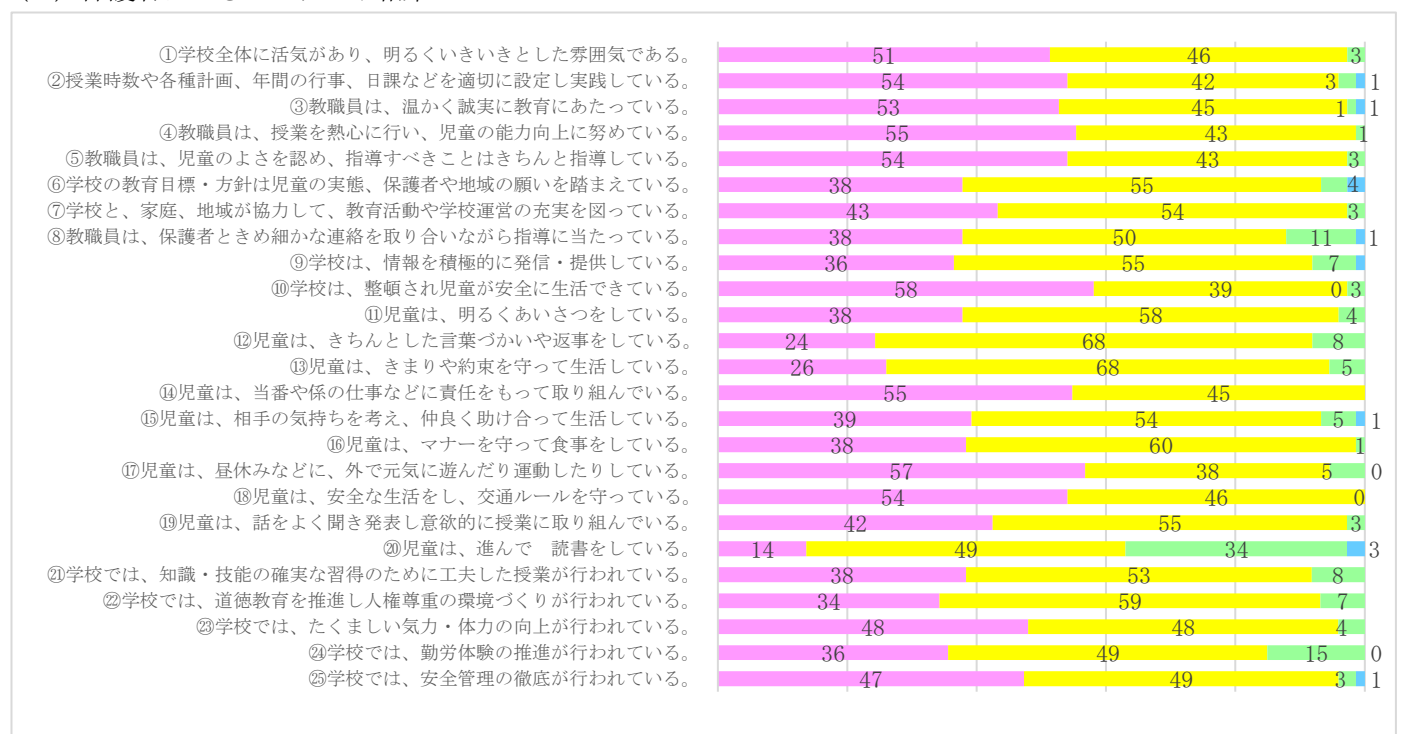
(1) 評価対象者（回収人数） 児童 105名 保護者 74名



(2) 児童によるアンケート結果



(3) 保護者によるアンケート結果



(4) アンケートの結果について (○成果 ▲課題)

【児童のアンケート結果から】

○学校では、仲間はずれがなく、楽しく生活している。
 ○交通ルールを守るなど、安全な生活をしている。
 ○当番や係の仕事などに、責任をもって取り組んでいる。
 ○休み時間や昼休みなどに、外で元気に遊んだり運動したりしている。
 ○先生方は、授業を熱心に行い、子どもの力をのばしている。
 ▲明るくあいさつをしている。
 ▲進んで読書をしている。

【保護者のアンケート結果から】

※主なものを抜粋

○児童は、当番や係の仕事などに、責任をもって取り組んでいる。
 ○児童は、安全な生活をし、交通ルールを守っている。
 ○児童は、話をよく聞き、進んで発表し、意欲的に授業に取り組んでいる。
 ○教職員は、授業を熱心に行い、児童の能力向上に努めている。
 ▲児童は、進んで読書をしている。
 ▲学校では、勤労体験の推進が行われている。
 ▲教職員は、保護者とときめ細かな連絡を取り合いながら指導に当たっている。

【成果】

- ・学校が楽しいと感じている児童が多く、友だちを大切にしながら生活をしている。
- ・安全な生活を心がけ、交通安全教室などを通して、交通ルールを守ろうとする姿が見られる。
- ・児童が自分の役割を自覚し、責任を持って活動に取り組んでいる。

【課題への改善策】

- ・読書時間の確保や図書の紹介、親子読書等で改善を図るとともに、意欲の高い児童のさらなる向上のための手立ても考えていく。
- ・さわやか班や環境委員会など、児童の主体性を生かした勤労体験の活動を実施できるようにしていく。
- ・保護者と連携を図り、児童の支援を効果的に行うために連絡帳や電話での連絡を密にする。必要に応じて家庭訪問等を行い、一人ひとりに寄り添った連携を行えるようにしていく。

2 本校の努力点・具体策の評価について (教職員による評価) 1月実施

(A:十分達成 B:おおむね達成 C:やや改善が必要 D:改善が必要)

教育目標	具体策	評価	成果・改善策等
進んで学ぶ子	○知識・技能の確実な習得 ○思考力・判断力・表現力の育成 ○学び合いのある授業の展開 ○主体的な学びに向かうICTの活用	B B A A	・ペア・グループでの取り組みはよくできている。学びを高めたり、深まりをもてるようにしたりするために、教師の働きかけや聞く力を高める工夫をする。 ・自分の考えを表現することが苦手な児童には、めあてと対応させるように指導する。
思いやりのある子	○道徳教育の推進 ○相手を思いやる心の醸成 ○支え合う学級集団・仲間づくりの推進 ○児童一人一人の個性の伸長	B B A A	・道徳的実践力を高めるために、学習した内容を意図的に学校生活の中に設定して指導を図る。 ・学活の時間を活用し、友だちのよいところ、がんばっているところなどを認め合う場を設ける。 ・児童会を中心に挨拶運動を計画し、実施する。
健康でたくましい子	○運動量のある教科体育の推進 ○年間を通した体力づくりの実践 ○保健指導・保健学習の充実 ○命を守る安全教育の徹底 ○食育指導の充実	B A B A B	・「学習カード」のデータを配付し、周知することで、活用できるようにする。 ・チャレンジタイムでは、その時期に合わせた内容を検討・計画する。
よく働く子	○清掃指導の推進 ○勤労体験の推進 ○年間指導計画に基づいた指導の実践と充実	A B B	・清掃中に音楽を流したことで、時間いっぱい取り組み、真剣に清掃する児童が増えた。 ・今後児童の人数が少なくなることを考えて、清掃分担の人数の編成や清掃内容を検討する。 ・校外学習で地域教育コーディネーターと連携し、地域の方から説明を受けるなどの体験活動ができた。
学校経営 ・ 施設設備	○施設設備・通学路の安全管理 ○危機管理の推進 ○学校公開の推進 ○地域連携の取組と推進	A A A A	・安全点検、防犯安全パトロール、スクールガードの見守り等を継続する。 ・避難訓練等の機会を通じて、何が危険かを考えさせながら指導する。 ・積極的に学校支援ボランティアとの授業を実施し、深い学びに繋がっている。